

議 事 録

- 1 会議の名称 令和5年度 第6回 石岡市複合文化施設整備審議会
- 2 開催日時 令和5年11月20日(月) 午前10時から正午まで
- 3 開催場所 石岡市役所 1階メロディアスホール
- 4 出席した者の氏名
大澤会長、加藤委員、山本(進)委員、富田委員、中根委員、
青木副会長、西牧委員、鴫田委員、原部委員、甲斐委員、木村委
員、土子委員、長谷川(京)委員、山本(真)委員、渡邊委員、
山口臨時委員
事務局：市長直轄組織 浅田理事
駅周辺にぎわい創生課 複合文化施設整備推進室
瀬尾参事兼課長、長谷川室長、富田係長、佐々木主任、江原
技幹
- 5 議題
 - ・建設地の選定について
 - ・施設機能について
 - ・その他
- 6 審議の内容
 - ・議事録のとおり
- 7 担当課の名称 市長直轄組織駅周辺にぎわい創生課(複合文化施設整備推進室)
- 8 議事録
 - ・出席者が規定の定足数に達していることを報告(委員19名中16名出席)

(1) 議事

■事務局

これより、令和5年度第6回複合文化施設整備審議会を開会いたします。

本日の出席委員は16名であり、本審議会条例第5条第2項に規定する定足数を満たしておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

初めに会長よりごあいさつをいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

■会長

第6回目の審議会となります。今回は建設地について決めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

■事務局

議事に入る前に一点ご連絡があります。

本日、敷地、建物等に関する簡易な模型を準備いただいております。作成にあたっては、筑波大学大学院の生徒にご協力を頂いており、本日審議会に同席頂いておりますので、予めご了承くださいませようお願いします。

それでは議事に入りたいと思っております。これ以降の議事については会長にお願いいたします。

■会長

議事に入ります前に、本日の会議の議事録署名人を二人指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは事務局より説明をお願いいたします。

■事務局

【1. 建設地の選定について】

建設地の選定についてご説明させていただきます。お手元に配布しております資料1、もしくは正面スクリーンをご覧ください。

4ページでは、建設候補地のメリット・デメリットをまとめたものを掲載させていただきます。

いしおかイベント広場につきましては、最大の特徴である「敷地が広い」という点については、十分な駐車場確保や工事の施工性という点ではメリットになると考えられる一方、敷地が広いことにともない外構等の工事費や維持管理費がかかるといった点はデメリットとなるのではないかと考えています。関連してくる事項として雨水処理が挙げられます。現在は未舗装の土地であるため雨水については自然としみ込んでいる状況ですが、大きな建築物あるいは駐車場整備による舗装など、現在と大きく土地利用が変わります。雨水に関しましては放流先がないことから敷地内に浸透処理施設を整備しなければならない、広大な敷地に対して巨大な浸透施設を整備することは工事費や維持管理といった点では懸念材料と言わざるを得ません。

鹿島鉄道跡地については、JR石岡駅に隣接という点が最大のメリットであると考えています。東西自由通路との直接接続、鉄道利用者に対する情報発信、高校生や大学生といった若年層の呼び込みとあって点では効果が期待できるものと考えます。ただし、敷地形態が細長いことから、建築的な工夫が必要となるほか、敷地内における十分な駐車場確保が困難であると考えます。また、地盤の問題や鉄道敷に隣接しているため、騒音・振動等の影響が懸念される場所です。

市営駅東駐車場については、JR石岡駅に近接しているため、鹿島鉄道跡地と同様のメリットがあるほか、現在整備を進めています都市公園との連携なども可能となってくるものと考えます。ただし、やはり鹿島鉄道跡地と同様に地形や地盤といった点が懸念されるほか、現に市営駐車場として利用していることからその廃止への対応が必要となることがデメリットとして考えられます。

いずれの土地も、それぞれメリット、デメリットを抱えている状況となっています。

続いて、周辺のアkses状況についてご説明いたします。

5ページでは、鹿島鉄道跡地と市営駅東駐車場の周辺状況、続いて6ページではいしおかイベント広場の周辺状況をお示ししています。

7ページでは、基本構想で定めた基本理念の観点から、建設地のポイントを整理いたしました。基本理念に基づき、施設での多様な文化芸術活動や多世代交流を通じて育成された人材を活用し、常にあるべき市の方向性を考え、まちづくりを進めていくといったことを期待しています。そのためには多くの人、とくに次代を担う子どもたち、若年層をいかに取り組んでいくか、また、文化芸術に対して無関心、無経験層をどう呼び込んでいくかが課題の一つであると考えています。これら課題を解消するため、子ども、高齢者といった移動に制限がある方でも気軽に利用できることで、アクセスしやすい場所であること、さらには、ついで利用できる場所といったことがポイントになってくるものと考えます。特に、2点目の「ついで利用」については、目的を持たずとも、何かのついでに施設を利用することにより、文化芸術に触れる機会が生まれ、それを繰り返していくことにより関心を持ち、自ら積極的な利用へつなげていくといった、文化芸術の裾野を広げ、根付かせていくための第一歩として必要不可欠な要素であると考えます。旧市民会館のような、目的をもって利用される施設から、目的がなくとも“ついでに利用”されることにより多くに人を集める施設が、今回整備する新施設には求められている。このような視点が、建設地を選定する際のひとつの要素であると考えております。

続いて、8ページから16ページでは、前回審議会において委員から建築、まちづくり、ひとづくりの3つの視点から整理してはどうかといったご意見をいただきましたので、その部分を整理させていただきました。

建築については、3つのポイントを整理しています。

都市計画上の規制、建物のボリューム感、埋蔵文化財の発掘調査の必要性。さらには、都市計画の変更や埋蔵文化財の発掘調査が事業スケジュールに与える影響について整理しています。

視点1 建築資料については、どれくらいの規模の建物が建築可能なのかとイメージがつきにくいので、延床面積6,000平方メートルと仮定して、表を作成させていただきましたが、こちらの部分につきましては、委員から、実際の模型を使ってご説明をさせていただきたいと

思っています。

続いて、事業スケジュールに与える影響については、埋蔵文化財包蔵地がある場合とない場合では建築のスケジュールに大きな影響を与えることです。こちらについては、前回の審議会で先行して発掘調査を行ったら良いのではないかというご意見をいただきましたが、文化振興課へ確認したところ、実際、掘る行為が埋蔵文化財の破壊行為に繋がるということや建設工事にあたっては、県の教育委員会の方へ手続きが必要で、その手続き、申請を受けた上で県が発掘調査の必要かどうかという判断をし、それから市町村へ指示がきて、発掘調査をするということでした。その手続きにあたっては、埋蔵文化財にどう影響を及ぼすかといった判断材料として、建物の配置図、基礎図等の資料をもって、県が埋蔵文化財の発掘調査の必要、不要を判断するということでした。その他、事業スケジュールに与える影響ですが、都市計画の見直しにつきましては、基本設計と並行して実施することが可能であると考えています。

視点2のまちづくりについて、石岡市総合計画（基本構想）、石岡市都市計画マスタープラン、石岡市立地適正化計画、石岡市地域公共交通網形成計画、石岡市中心市街地活性化基本計画並びに石岡市文化芸術推進基本計画の主要な計画との整合性を図っていく必要があるということです。こちら資料に各計画のまちづくりの基本方針をまとめさせて考えて記載しています。

視点3のひとづくりについては、7ページでも一部触れておりますが、「ひと」を育て「まちづくり」の原動力としていく、その「ひと」とはこれからの石岡市を担う子どもたちや若年層の人達であります。一方、高齢者を含む幅広い年代に利用していただくことが多世代交流につながります。子ども・若年層をいかに集客するか、高齢者や障害をもった方でもいかに気軽に利用していただけるかといった点がポイントになってくるものと考えます。

17ページでは、駐車場整備の基本的な考え方について、まとめさせていただきました。

前回の審議会の中でも触れさせていただきましたが、ホールの収容人数イコール駐車場整備台数ではないということをご理解いただきたいと思います。資料では、7月に開館しました水戸市民会館における駐車場整備の考え方について、ご紹介しておりますので参考にいただければと思っております。

今回、資料としまして7月に開館をいたしました。水戸市民会館の整備基本計画の中で掲載した、駐車場整備の考え方について掲載をさせていただいています。こちらについては、最大の来場者数から自動車利用率を平均乗車人数で割ったものを駐車場整備目標台数と算出し、駐車場需要台数引く既存駐車場における最小駐車可能台数を設定しています。

駐車場整備に関しての課題の一つとしましては、イベントを開催するときには、当然、満車に近い車が止まりますが、ホールにイベントがないときには、ただの空地となりやすいという部分が最大の課題になります。そういった観点から、駐車場整備については、より議論を重ねていく必要があるものと考えています。その中で、例えば民間駐車場や空き地、臨時駐車場等を上手く活用していくことも重要であると考えております。

18ページには中心市街地内にある時間貸しの民間駐車場の状況を示した地図をお示ししています。複合文化施設の駐車場を整備していく一方で、これら民間駐車場をうまく活用していくことも含めて、駐車場の在り方については検討していく必要があるものと考えています。

19ページにまとめさせていただきましたとおり、民間駐車場の活用、あるいは市役所や石岡運動公園といった公共施設の臨時的な活用などに加え、パークアンドライドを活用することにより、施設周辺における交通渋滞の緩和、あるいは環境負荷への軽減といった効果が期待されます。

最後に、今回建設候補地としているいずれの土地も市有地であり、市民の大切な財産であること、さらにはその土地を有効活用し、市民サービスの向上を図っていくことは重要なことでもあります。その上で、これまで説明してきたとおり、基本構想で掲げた基本理念、「新たな活力で輝く未来へ「文化」「ひと」「地域」の交流拠点」を実現し、多様な文化芸術活動や多世代交流を通じて「ひとづくり」、さらには「まちづくり」へとつなげていくためには、石岡駅隣接地で建設することがふさわしいと考えます。

ただし、石岡駅に隣接する2つの土地についても、敷地形態を踏まえた建築計画のさらなる精査は必要であると考えております。この部分につきましては、業務支援を受けるコンサルタントと早急に検討を進め、当審議会へご報告させていただきたいと考えております。

今後、施設機能を検討していくこととなりますが、「鹿島鉄道跡地」または「市営駅東駐車場」を前提として議論を進めさせていただきたいと考えています。

ただいまの説明に続きまして、委員による敷地や建物に関する規模感の説明をいたします。尚、この模型に関しましては、敷地に対する建物の規模感をイメージするためのあくまで参考資料でございますので、合わせてご了承願います。

■会長

敷地や建物に関する規模感の説明をするための発表準備をしている間、先程の事務局の説明について、質問はありますか。

■委員

いしおかイベント広場の店舗出店計画の進捗状況はどうなりましたか。

■事務局

現在、進展はありません。ただ、いしおかイベント広場は複合文化施設の建設候補地となっており、こちらが最優先事項の案件であると考えています。まずは複合文化施設の建設地の決定をしていくこととなります。

■委員

図書館が複合文化施設に含まれることは、まだ先の話ですか。

■事務局

図書館については、複合文化施設に含むのか、含まないのか、庁内で調整しています。

■委員

いしおかイベント広場で建設が決まった場合にいろいろな手続きがあり、その手続きを終えて、発掘調査を行った時に埋蔵物がたくさん出て工期が遅れたり、建設ができない可能性があると思いますが、どう考えていますか。

■事務局

いしおかイベント広場につきましては、これまで試掘調査等を4回行ってきています。

平成12年にいしおかイベント広場全域の試掘調査が実施されております。それから平成19年には、当時予定がありました文化施設の建設予定地のうち908平方メートルの発掘調査、本調査が済んでいます。その後、平成19年11月から12月に当時の複合文化施設建設予定地、平成23年には現在トイレ建設で試掘調査をしています。そのうち19年の本調査では重要な遺構というものは出なかったということですが、埋蔵文化財につきましては実際掘って見ないとわからないという部分がありますので、現時点ではなかなか明確なお答えができない状況です。

■委員

広い面積の発掘調査を行うのは、かなり時間を要したり、その分、工期が遅くなったりするのではないかと思います。質問しました。

■会長

最近だと、JR東日本田町駅と品川駅の間に高輪築堤跡が出て工期が遅れているという事例があるので、いしおかイベント広場でも、同様なリスクはあると思います。

■委員

複合文化施設ができることで、人の流れが変わってくれば良いなと思います。

■事務局

複合文化施設は人が集まる施設なので、周辺へ人の流れをどう生んでいくかということが大事になってくるものと思っています。

このような施設ができれば当然、市としても回遊性という部分ではいろいろな取り組みをしていきたいと思っています。

例えば地元の商店街と一緒に協力して、今は閉めているお店でも週末だけ開けてみようか等、そういう小さなところから少しでもまちの活性化につなげていきたいと思っていますので、人の流れや商店街の活性化の部分については当然、複合文化施設が出来た後の課題でもありますが、今の時点からしっかり庁内で議論をして、しっかり方向性を定めて取り組んでいきたいと思っています。

■会長

準備が終わったようなので、説明をお願いいたします。

■委員

《模型を使って説明を行う》

■会長

ただいまの説明について質問はありますか。

■臨時委員

図書館は検討していないのですか。

■委員

水色の大きな模型がメインホールで、その隣にある小さい模型はサブホールとなっています。その他の白い部分は自由ですが、面積的にその部分に図書館を入れるというのは難しいです。図書コーナーであれば計画が可能かと思われます。

■委員

駐車場について、建物と一体的にはなっていますか。

■委員

今回計画したのは平場の駐車場です。地下駐車場を計画したが、鹿島鉄道跡地の地盤を考慮して計画はしていません。

■事務局

駐車場については、まだ平場や立体駐車場にするとは決めていません。

資料でも説明した通り、駐車場整備のやり方によっては空地になってしまう可能性がありますので、そうならないように工夫をしていく必要があります。

例えば先ほど資料の中で申し上げましたように、民間駐車場の活用や周辺公共施設の臨時的な活用、既存駐車場を活用しながら、今後、駐車場をどれぐらい整備していくか整理していきたいと思います。

■委員

石岡市の一番良いところに建てるのだから有効利用をしていただければと思います。

■会長

今回は一番厳しめの設定条件となっているため、空間利用についてはまだ自由がありません。

■委員

鹿島鉄道跡地に建設した場合、音楽ホールの機能を損なう騒音や振動等の対策はあるのでしょうか。

■委員

専門的に音楽ホールを設計したことがないので一般的なことでしか回答はできませんが、おそらく影響が出てくると思います。そのためには吸音材等を施工するしかないと思いますが、その分、建設コストに跳ね返ってくると思います。

ホール機能としてマイクを使わないような質の高い空間にするのか、または中高校生の演奏会が主であるというふうに割り切るのか、目的によってホール機能は変わってくると思います。

■事務局

委員のご指摘の通り、確かにJR常磐線と非常に近いという土地なので、そのような懸念はあります。そこにつきましては、この度、基本計画策定に当たりまして、策定支援を受けますコンサルタントが決まり次第、影響を最小限に抑えられる工夫がどのようなものがあるのか整理をさせていただき、審議会で報告をさせていただきたいと思います。

■委員

市営駅東駐車場では敷地が足りないという部分ですが、その前にある都市公園等含めて、計画するという考え方はありませんか。

先ほど言ったように公園とうまく利用できれば市民の憩いの場になるになるのかなと思います。やはり端的に考えるのではなくて、石岡市の土地であれば、一体的な整備ができれば、それも一つの選択肢になるのではないかなと思っていますので、それも含めて検討していただけるとありがたいなと思います。

■事務局

現在、市営駅東駐車場前のスケートボードパークと防災機能を備えた公園で子どもたちが遊べる3歳から12歳まで使える遊具の整備を進めています。委員から言われるように、そのような部分を含めて、駅周辺を一体的に整備するというのは、まちづくりとして大変重要だと思いますので、そのような面も含めて検討させていただきたいと思います。

■委員

模型を作って感じたことになりましたが、市営駅東駐車場であれば、一体利用したほうが良いなと感じました。南西に日当たりが良いことや公園やスケートボードパークがあることで若い人が利用するきっかけにもなるのかなと思いました。

鹿島鉄道跡地についてはJR常磐線の線路に近いというデメリットがありますが、それを逆手にとって、複合文化施設を石岡のビルボードにしてみたり、開放的にして活動内容が分かるようにすることで身近に文化を感じてもらえるのではないのかなと思いました。

■委員

駐車場について、平場で整備するのではなくて、駐車場を立体的して、その上に住宅を整備するという計画はありますか。市が取り組んでいる石岡市総合計画の人口増になるのではないかなと思いました。石岡から東京は1時間で行き来ができ、東京通勤者が多いので、良い

などと思います。

■事務局

そのようなことも検討する必要があると考えていますが、今回複合文化施設の方がメインですので、それを中心としたまちづくりという時には、委員が言われるようなことも検討していく必要があると考えています。

■委員

模型についてホールの屋上利用は可能でしょうか。

■委員

今回はデザイン上の意図はなく、決められた条件で敷地内に建物が建設することが可能なのかを示しているだけです。もちろん日影についても検討はしていません。

■委員

今後は鹿島鉄道跡地と市営駅東駐車場を建設候補地として検討していく理解でよろしいでしょうか。

■事務局

資料の通りいしおかイベント広場、鹿島鉄道跡地、市営駅東駐車場それぞれにメリット、デメリットがあります。説明させていただきましたが、その中でも、基本理念の実現、あるいは人づくり、まちづくり、そのような部分を実現していくためには、鹿島鉄道跡地、市営駅東駐車場を進めさせていただきたいと思います。

■委員

鹿島鉄道跡地だと、なかなか八郷地区の人が利用しにくいと思います。また、昨年の6月に実施した事前のアンケートの結果も尊重していただければと思います。

文化財の保存活用については、これは文化庁で進めているところです。発掘したことで、初めて、時代背景や価値が分かったからこそ活用していくっていうことも可能なのかなと思いました。そのようなことを伝えることができたのではないかなと思いますが残念です。

石岡の魅力を磨くためには何が必要なのかを検討しながら説明していただければと思います。

■事務局

当初、議論から説明させていただいていますが、今回、建てる施設につきましては広く市民に利用していただく施設であるということ。そこは事務局としてもしっかり意識して参りました。今後もしっかり意識をして、計画策定に携わっていく必要があるのかなとも思います。

また、先ほどお話させていただきましたが、この複合文化施設に集まった人、いかに周りに人の流れを作っていくか、そこが大事なことだと思っています。また、委員おっしゃる通

り、八郷地区の人だから利用しないということではなくて、むしろ八郷地区にお住まいの人にも積極的に使っていただけるように、実施する事業、施設機能の部分をしっかりまとめていきたいと思っています。

■会長

2月までに建設候補地、施設機能、事業手法を決めるとのことですので、時間がありません。建設候補地は鹿島鉄道跡地、市営駅東駐車場で進めていきたいと思います。

■委員

1つ目は建設候補地の情報について、前回この情報があれば、今回の議論内容も変わってきたのではないのかと思いました。

2つ目は鹿島鉄道跡地の地盤が良くないので、地下駐車場が難しいということですが、屋上の有効活用をさせることはすごく賛成です。

3つ目は前回も申し上げたが、石岡の文化を言語化、ビジュアル化する作業というのはやっぱり並行して進めて欲しいなと思います。なぜ石岡市がスケートボードパーク作るのか、市内に有名な選手がいるのかはわからないがタピオカや高級食パンみたいに流行っているから建設するのではなく、施設建設には必ず理由があると思いますので、石岡市に複合文化施設がなぜあるのって子どもに聞かれたときに、理由を説明できたほうが良いなと思いました。

■会長

建設候補地については、いくつかのステップを踏んでいった結果、今回の建設候補地の選定となっていますので、ご理解いただきたいと思います。

次の議事の入りたいと思います。

(2) 施設機能について、事務局より説明をいただきたいと思います。

■事務局

【施設機能について】

施設機能については、前回審議会におきましてもご紹介させていただいたところです。

今回は、先日筑波大学の学園祭において発表いたしました高校生提案の一部をご紹介させていただくのと、先日、事務局におきまして宮城県石巻市、岩手県釜石市の施設を視察してまいりましたのでご紹介させていただきます。これらを通じまして、皆様にもいろいろイメージをもっていただき、次の会議では、より具体的な検討に入っていきたいと考えております。

ワークショップを通じて取りまとめました高校生による提案の一部をご紹介させていただきます。資料は、お手元に配布いたしました資料をご覧ください。

高校生ワークショップでは、「石岡市らしい複合文化施設」をテーマとし、高校生自らが街なかを歩き、あるいは周囲の大人たちに話を聞きながら、石岡市の長所、短所をまとめ、そこを活かし、あるいは克服するためにはどのような機能が必要か、それを十分発揮するためには3つの候補地のどこがよいかといった幅広い視点から、高校生自らが考え、まとめたも

のとなっております。今回は、時間の都合上、ホール以外の部分でどのような機能が必要か、さらに自分たちがより重点をおきたいエリアをピックアップしその部分を重点的に整理していただいておりますことをあらかじめご了解いただければと思います。

1班は、石岡の中心・象徴となるようにという願いを込めて“センターオブ・イシオカ”というコンセプトのもと、交流、娯楽、飲食、さらには屋上も利用した施設といった提案をいただきました。その中で交流スペースでは、多世代交流や文化芸術に触れあうことができるようにということでまとめていただきました。

4班は、石岡のひとが家族に過ごせる場所といったコンセプトのもと、子育てエリア、スタディエリア、エンジョイエリアといった形でまとめていただきました。その中で、子育てエリアについては、子どもが遊べる場所であることはもちろん、交流を増やすという視点から地域の高齢者にも協力いただき、高齢者から子どもたちに遊びや文化を教える場といった提案をいただきました。

6班は、「石岡でくつろごう」ということで、販売エリア、イベントエリア、くつろぎエリア、さらには屋上を活用していくといった形でまとめていただきました。施設コンセプトとして、多世代に「くつろぎ」を提供する、年代を問わず交流ができる空間にしたいといったことから提案をいただきました。

今回は3つの県立高校、6グループでワークショップを行いましたので、このほかに3つのグループからも提案をいただいております。

何の縛りもない高校生が自由な発想と、石岡市をよくしたいとの思いから提案いただきました。参考にできる部分もございますので、できる限り取り入れていきたいと考えております。

続きまして、視察の報告をさせていただきます。

【視察の報告】

《パワーポイントによる説明》

場 所：宮城県石巻市

施 設 名：石巻市複合文化施設 マルホンまきあ〜とテラス

開館年月日：令和3年4月1日

敷地面積：22,323㎡、建築面積：8,449.24㎡、延床面積：13,267.54㎡

構 造：鉄筋コンクリート造

一部鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造

階 数：地上4階

総事業費：約128億8千万円

指定管理者：公益財団法人石巻市文化振興財団※石巻市博物館は直営

施設用途：①大ホール1,254席 1階 808席/親子席16席 2階 410席/マス席207席

式典、各種コンサート、講演会の他、大規模イベントの開催に活用

2階席をカーテンで仕切ることにより、1階のみの中ホールとしても利用可能

②小ホール（ホワイエ含む）300席（可動式）

シンポジウム、講演会、小規模コンサート等で多く利用。座席が可動式であ

り、市民美術展の展示会場としても利用でき、使用用途に合わせた多種多様な使用が可能

③市民ギャラリー

美術工芸品、各種物産販売会等に活用、市民サークル等による美術作品展、写真展等が多く開催

④各研修室、活動室、和室

利用人数や活用用途に合わせた多種多様な利用がされるスペース
活動室は、市民の音楽、ダンス等活動で多く利用、
和室は、茶道、日本舞踊サークル等の活動、着物販売会等で利用

⑤石巻市博物館

石巻市の通史を取り上げた常設展示室と、石巻市に由来のある芸術家の作品等を展示する企画展示室

備 考：白色で統一された非常に特徴ある施設
非常にデザイン性に凝った施設

場 所：岩手県釜石市

施 設 名：釜石市民ホール TETTO

開館年月日：平成29年年12月 8 日

敷地面積：5,293.59㎡、建築面積：4,617.80㎡、延床面積：6,980.21㎡

構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造

一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造

階 数：地上4階、地下1階

建物高さ30.97m

建 築 費：57億円

指定管理者：釜石まちづくり株式会社

施設用途：①ホールA 客席数838席、1階席480席（移動席192席 電動ロールバックチェア288席）、2階席304席、バルコニー席54席

1階移動席及び電動ロールバックチェアを収納することにより平土間スペースに変更可能

1階席後方及びホールBの可動壁を開放することによりホールA舞台からホール前広場まで空間を一体化させることが可能

②ホールB 平土間式椅子を約200席分設置可能

東西2面が可動壁（白色とガラスの2種類）

公演会やピアノ演奏会等、多目的で利用

夜間（18-21時）は利用料金を安く設定し、市民へ広く開放

③ギャラリー 約109㎡

吊り下げ式可動展示パネル23枚

可動式パネルで区切ることで、会議室としての利用も可能

④スタジオ

防音壁が施されており、吹奏楽の練習場所として活用

ドラムセットのあるスタジオのみ完全防音

備 考：ホールBの側壁が開口になり、実際建物とこの広場が一体になる
スタジオはガラス張りとなっているので、外部から中の状況が確認できるが、中の活動を見られたくない場合はカーテンで閉めることができる

■会長

これまでの説明で質問はありますか。

■委員

施設利用のところで、やはり学生などが活躍できる場として、ホールの音響や照明を学生などに体験させたり、動画編集等の普段経験したことがないのを経験させる機会があれば良いなと思います。

■事務局

施設の運営については、幅広い方に携わっていただくことも含めて検討して参りたいと思います。

小美玉市のみの～れだと、例えば小学生を対象に普段は入れないバックヤードを見学するような機会をイベントとして実施して、ホールを身近に感じてもらうといった取り組みをしている事例があります。

■委員

石岡市でどこまで使える金額があるのか、そういう金額の話も教えていただければなと思います。

■事務局

委員おっしゃる通り、現実的にはその財源という部分で難しいところもあります。複合文化施設整備事業のほかの事業もありますので、次回、できるだけ財源を積み上げていった時に大体幾らぐらいの建設費用がかかるのか、現時点での目安をお示しさせていただきたいと思います。ただし、建物を建てようとした時どれぐらいの概算事業費がかかるのかというのは実際のコンサルタントに直近の類似施設の建設費などを調べていただき、算定していただくことになるかと思いますが、そちらについては時間がかかると思います。

■委員

コンサルタントは良いところしか言わないので、しっかりと見極めたほうが良いと思います。

■会長

やはり維持管理費用は大切なので、そちらも検討してもらいたいです。

■委員

石巻市複合文化施設 マルホンまきあ〜とテラスと釜石市民ホールTETTOでは、どんな人がどのように利用しているのかを教えていただきたいです。その他として当初の狙い通りの施設利用がされているのか、施設用途の良いところと悪いところが分かればなと思いました。

■事務局

視察先の職員や運営携わった指定管理の人たちにいろいろお話を聞き、例えばどういう事業がしているのか、あとは実際こういうのを作ったけれど、こういうところがメリット、デメリットだとか、こういうところは市民の評判が良いとかの内容をできる限りまとめまして、次回には、情報共有させていただければと思います。

今日の資料につきましては、印刷したものを各委員に送らせていただきますので、よろしく願いいたします。

■委員

石巻市のことは詳しくはわかりませんが、すごくヒントになるかと思いました。

■委員

事務局の2つの事例については、コンペで選ばれたものです。その際に運営のところまで応募したとのことです。石岡市の事業がどういう形で決めていくのかによっては市民の関心も違ってくると思います。

■会長

それでは、最後の（3）その他について、事務局より説明をお願いします。

■事務局

事務局より次回審議会の日程につきまして、お知らせをいたします。

次回の第7回審議会でございますが、これまで12月21日（木）の日程でお伝えをしてまいりましたが、12月27日（水）午後2時へ変更となりました。

次回審議会は12月27日（水）午後2時から、市役所2階201・202会議室にて開催となります。年末のお忙しいところ恐縮ではございますが、ご出席のほど、よろしく願いいたします。

■会長

それでは、以上をもちまして、令和5年度 第6回 石岡市複合文化施設整備審議회를終了いたします。

本日はありがとうございました